

拝啓

錦秋から枯葉へとうつろい、雪がちらつく季節へ近づいて来ていると感じる晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日は、「ケーナ演奏会」を開催して頂き誠にありがとうございました。

日程が決まってから、初めて聞く事ができる生音の「ケーナ演奏会」をととても楽しみにしていました。

ケーナの音色を生かした曲目「北の国から」の演奏から入居者の皆様は惹き付けられていました。昭和二十年代(?)からの懐かしのメロディが始まると自然と口ずさまれ、頭でリズムをとったり、手拍子をしたり、足拍子をされるなどそれぞれに心と体で楽しまれていました。

又、「童謡」の演奏では、しっかりと歌われている方が多数いらっしやいました。沢山の「秋の歌」を思い出され、懐かしそうに歌われていました。ケーナの優しい音色と歌声がホールに満ちていました。

お一人で多くの曲を演奏され入所者やシヨートステイ利用者・デイサービス利用者の皆様に聴かせて頂ける、そのお気持ちと行動力に感謝致します。

聴力に障がいがあるとの事でしたが、全くそれを感じさせな

い演奏に私たちは魅了されました。

又、奥様のお声かけから職員が舞台に立ち、曲に合わせ踊る演出など思いもよらぬ場面が生まれ、いつそう楽しい時間となりました。

楽しい時間は早く過ぎます。演奏終了後は、入居者の皆様とコミュニケーションを図って下さり、尚の事思い出に残る演奏会になりました。

私共から声を掛けさせていただきましたが、遠方からのご来園はご負担が大きかったのではと反省しております。

お疲れになられたのではないのでしょうか。これから、冬に向かい冷え込みが強くなる季節、くれぐれもお身体をご自愛下さいますよう、ご夫妻のご健勝と御活躍を心よりお祈りしお礼の言葉とさせていただきます。

敬具

平成三十年十一月二日

特別養護老人ホーム 湧愛園

施設長 中山 眞美

笠谷 俊一様

奥 様